

高岡能楽会

創立五十周年記念能楽大会

～能楽師による特別なひととき～

ごあいさつ 日頃の感謝を込めて、どなたでも気軽に楽しめる記念公演を開催します。
能を初めて観る方も大歓迎。能楽師による伝統芸能をご堪能ください。

■開催日時 **令和8年5月17日(日)**

第一部 会員発表 開演：10時

第二部 能楽鑑賞 開場：13時30分 開演：14時

■会場 **高岡市文化芸能館 3階 能舞台**

高岡市江尻1321-1
TEL 0766-20-1555



高岡市文化芸能館

※当館の駐車場は狭いため公共交通機関をご利用ください。

■入場料 第一部は入場無料

第二部は有料

《事前予約》 全席自由 2,000円(税込)

《当日》 全席自由 2,500円(税込)

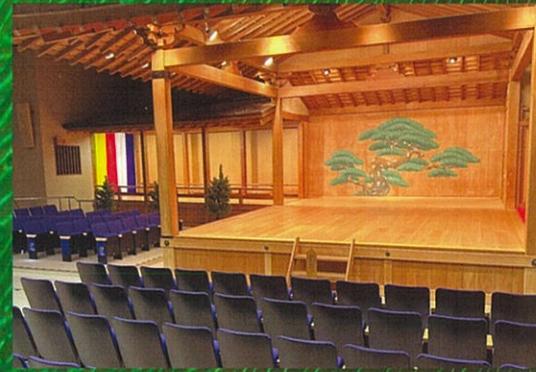
- ※小・中・高校生無料(事前予約は必要です)
- ※未就学児の入場はご遠慮ください。
- ※満席の場合、当日券は販売いたしません。
- ※公演中の撮影・録音は固くお断りいたします。



■事前予約申し込みQRコード⇒⇒⇒

- ※当日、返信メールの画面か印刷したものをご持参ください。
- ※入場料金は、当日会場受付にてお支払いください。

■お問い合わせ 吉田 TEL: 090-8966-4217 車 TEL: 0766-24-1677



第一部 会員発表

第一部 午前10時始

能楽鑑賞

第二部 午後2時始

仕舞

高砂 佐野 由於

弱法師 金井 雄資

狂言

蝸牛 能村 晶人

舞囃子

藤 大坪喜美雄
(人間国宝)

休憩(二十分)

能

清経 シテ 金森 秀祥

五雲

終了 午後四時四十五分頃

主催：高岡能楽会

後援：高岡市教育委員会 北日本新聞社 富山テレビ放送株式会社

第二部 創立五十周年記念能楽鑑賞 (午後二時始)

◇仕舞

高砂 佐野 由於

弱法師 金井 雄資

山崎 健

渡邊 茂人

金井 賢郎

米島 和秋

◇狂言

蝸牛 シテ能村 晶人

アト 清水 治
小アト 史生

◇舞囃子

藤 太坪 喜美雄

飯場 六之
住駒 俊

館 聖

佐野 由於

金井 雄資

水口 純治

(休憩 二十分)

◇能

ツレ 金森 良充

シテ金丸 秀祥

清經

男 北島 公之

飯場 六之

住駒

宿夫

金井 雄資

太坪 喜美雄

佐野 由於

山崎 健

後見

渡邊 茂人

金井 賢郎

水口 純治

館 聖

—五雲—

【あらすじ】

仕舞 高砂

住吉へ向かう神官の前に、相生の松の精である老夫婦が現れ、夫婦和合と長寿の道を語る。やがて住吉明神が姿を現し、国土安泰と天下泰平を寿ぐ。

仕舞 弱法師

盲目の少年・弱法師は父と離別し放浪していたが、撰津四天王寺で父と再会する。親子の情と仏の慈悲により、心の救済が描かれる。

【あらすじ】

舞囃子 藤

加賀から善光寺へ向かう僧が氷見の多枯の浦に立ち寄り、藤咲く景色を眺める。藤の歌を詠まぬ僧を藤の精と名乗る女が咎め、和歌を詠んで消える。里の男から藤の由来を聞いた僧が弔うと、夜に藤の精が現れ、感謝して春の名残を舞い、姿を消す。氷見市下田子にある神社「田子浦藤波神社」

【あらすじ】

能 清經

平家一門が都落ちした後、都に残った平清經の妻のもとへ、家臣の淡津三郎が九州から訪れ、清經が豊前国柳ヶ浦沖で入水したという悲報と遺髪を伝える。妻は約束を果たさなかつた夫を恨み悲嘆のあまり、遺髪を宇佐八幡宮に返納する。しかし夫への想いは募り、夢枕に鎧姿の清經の霊が現れる。再会を喜ぶ一方、互いに恨みをぶつけ涙する。清經は入水に至る心情と死後の修羅道の苦しみを語り示し、最後は念仏によつて救済される。

【あらすじ】

狂言 蝸牛 (かぎゅう)

駆け出しの山伏が藪で眠っているところへ、主人に命じられた太郎冠者がカタツムリ探しに来る。主人から聞いた特徴「頭が黒く、腰に貝をつけ、角を出す」を当てはめ、太郎冠者は山伏をカタツムリと思い込む。山伏はいたずら心から名乗り出て、装束で証拠をでっちあげる。太郎冠者は大喜びで連れ帰ろうとするが、囃しを条件に踊り始める。遅れて来た主人はだまされたと気づくが、三人とも「でんでんむしむし」の囃しに巻き込まれ、踊りながら退場する。